

## J R 只見線全線再開通を盛り上げる

# 角田杏さん「只見線36駅+2駅自転車全駅制はの旅」

全線再開通する J R 只見線を盛り上げようと角田杏さん（明和小6年）が、7月30日、31日に J R 只見線沿線の全36駅と廃駅となってしまった柿ノ木駅・田子倉駅を自転車で走破しました。

杏さんは、「この挑戦で只見線が注目されて、全線運転再開の応援になればいいなと思いチャレンジしました。駅に住民の人などが駆け付けてくれたことが嬉しかったです。全線運転再開後には、1人で只見線を使ってお出かけをしたいです」と感想や今後の目標を話しました。



▲ゴールの J R 会津若松駅では、駅長と駅員の方々に出迎えていただきました

## 町内で繁殖する鳥たちを観察

# 「春から初夏の野鳥観察会」開催



▲参加者は、只見町内の鳥類の多様性を実感しました

「春から初夏の野鳥観察会」が4月から6月まで開催されました。観察会は、各月1回行われ、1回目は黒谷川、2回目は恵みの森周辺、3回目は新田沢を観察地としました。全3回の観察会を通して、オオルリやホオジロなど延べ48種が確認できました。

9月24日、10月29日、11月26日には「秋から初冬の野鳥観察会」が開催される予定です。詳細については、只見町ブナセンター（電話：0241-72-8355）までお問い合わせください。

## 身近にある素敵な自然体験

# 「観察の森・余名沢のブナ林散策」

季の郷湯ら里の主催で「観察の森・余名沢のブナ林散策」が8月7日に開催され、町内の親子など27人が参加しました。

当日は、湯ら里のスタッフやブナセンターの指導員が講師を務め、昆虫や樹木の説明の他にクイズなどを行い、参加者たちは、身近にある自然について学びました。

参加した子どもたちは、「ちょっとした探検気分が味わえて楽しかった」と話しました。



▲最後には皆さんで記念撮影を行いました

## 幕末の勇士 河井継之助をしのぶ 「河井継之助墓前祭」が 行われました



▲墓前祭に参加された皆さん

「河井継之助墓前祭」が、河井継之助の命日となる8月16日に医王寺で行われ、関係者を中心に約40人が参加しました。

墓前祭は、渡部仁一実行委員長から、関係者や参列者へのお礼の言葉が述べられた後、焼香や読経が行われました。その後、渡部町長から追悼の言葉が述べられました。

また、当日は只見町河井継之助記念館の入館料が無料となっており、墓前祭後には多くの方が記念館に足を運びました

## 学生が講師に来てくれました 「サマースクール」開催



▲中学生に勉強を教える福島大学の学生

町内の小中学生を対象としたサマースクール（夏休みを利用した学習塾）が、8月7日から10日まで開かれました。

今年は、福島大学の学生を中心とした団体『F-caution サークル「ホップ」』に所属する学生7人が講師を務めました。

参加した小中学生は「優しく、分かりやすく教えてくれるので、勉強がとてもはかどりました」と話しました。

## 地元産品などが並びました 「明和マルシェ」開催



▲水ヨーヨーすくいもあり、子どもたちも楽しめました

明和自治振興会の主催で「明和マルシェ」が7月23日にただみ・モノとくらしのミュージアムピロティで開催され、子どもから大人まで多くの方が足を運びました。

明和マルシェは、10月まで月1回程度開催される予定で、地元産品や手作りの工芸品などが並びます。開催日につきましては、明和振興センター（☎0241-86-2111）までお問い合わせください。

## ただみ・モノとくらしのミュージアム 「開館記念講演会・ ギャラリートーク」開催



▲ギャラリートークで説明に立つ佐野教授

只見町教育委員会の主催でただみ・モノとくらしのミュージアム開館記念講演会（20日/季の郷湯ら里）とギャラリートーク（21日/モノとくらしのミュージアム）が開催され、神奈川大学の佐野賢治名誉教授が講演しました。

佐野教授は民具の大切さなどについて講演し、「只見町の人々はミュージアムを建てたことを誇ってください」と話しました。